

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	32	利用者様が共同生活を継続していけるように、疾患・体調・心身の状態を把握し、適切な判断や対応で主治医などに的確に情報提供していく。	・介護技術や疾患などの知識を身に付け、利用者の体調や心身の変化に気づき主治医に情報提供が出来る。	・研修などに参加したり、専門職から高齢者の疾患などを学び内部研修などを行い知識向上に努めていく。 ・申し送りや各会議などで報・連・相行い、おひとりおひとりに合ったケアの統一を図っていく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。